

# 光る屋根

## ～能登瓦の輝く能登島曲町まがり～

比咩神社（能登島向田町）の古池の水を飲んでいることから「池好」と名づけられた。成長するととも姿かたちの良い、きわめて足の早い馬になったため、源頼朝に献上したと言われている。この馬が後に頼朝により「池月」と改名され、平家物語「宇治川の先陣」にも登場した名馬なのである。

「曲」周辺には牛馬を産していたという記録が残っている。」

今では、牧山は岬を利用したアウトドア・レクリエーション施設「家族旅行村Weランド」として、島馬が眺めたであろう景観を生かし、家族連れなどに親しまれる憩いの場となっている。その上、「曲」には「のとじま臨海公園水族館」ができたことにより、観光地としてたくさんの方が訪れている。

県水産総合センターや水族館ができた今日でも、まるで水に濡れているかのように陽光に輝く黒い能登瓦の屋根と、自然石を利用した石垣、垣根のない家々が悠々と佇んでいる。一見、普通の風景に見える町並みであるが、そこには、今もなお、ふるさとの温もりを感じさせてくれる風景が残っている。

能登らしい素朴さと美観が守られた地域は、七尾市のかげがえのない魅力である。

### 今月の 主な内容 CONTENTS

- 七尾市の国際交流
- 市役所案内
- 地域審議会スタート

4  
6  
10



能登島曲町

### 能登島曲町周辺マップ



能登瓦は石川県で生産される耐寒釉薬瓦で、石粉を使い釉焼きされているため、塗られた釉薬により、まるで瓦が水に濡れて光っているように見えます。黒色がほとんどですが、南加賀では赤色が多く見られます。冬季の落雪事故を防ぐ、屋根に雪止めをして雪おろしをする習慣に対応するため、積雪荷重に耐え、歩行の衝撃に強い瓦です。